

三〇 天和二年五月 中山道倉賀野宿の間屋荷物取扱い規定

[C]

覚

一 荷問屋、はしけ舟三艘之外持申間敷候事、「但問屋之外舟持之分者、廻り荷物」積可レ申事

一 荷問屋ハ、手前舟三艘ニ而積送り可レ仕候、勿論三艘ニ積あまる荷物者、「手前へかこひおかす、廻りニつませ可レ申候事

一 廻り舟ニ荷物つませ申候分、荷本より「問屋舟賃請取次第、定之通急度」相渡し可レ申事

一 諸大名衆城米荷物、唯今迄請合申候分、仲間よりせりある申「間敷候事

一 問屋之外舟持之分、脇々之荷物才覚「次第、積送り可レ仕候事

天和貳年戊五月二日